

遠隔監視システムパッケージ

K@ncia! R2 - カンシア R2 -

遠隔監視に必要な機能をパッケージに

遠隔監視システムパッケージ K@ncia!R2は、大規模広域遠隔監視から、工場内の設備監視まで、幅広くお使いいただけるシステムパッケージです。大量のデータを高速に、正確に監視します。

◆ 特長

大量のデータ収集

1ヵ所の監視対象地点から最大12万点もの信号が収集でき、監視できます。また、監視対象地点は1システムあたり最大1000ヵ所まで、同時にリアルタイムに監視ができます。監視周期は200msで信号の急激な変化も見逃しません。現場側にはPCと同等のインテリジェンスを搭載したデータ入出力装置FA-M3を設置し、大量のデータ収集処理・監視を確実にを行います。現場側でほとんどの処理を行うため、通信回線・データサーバに余計な負荷をかけません。

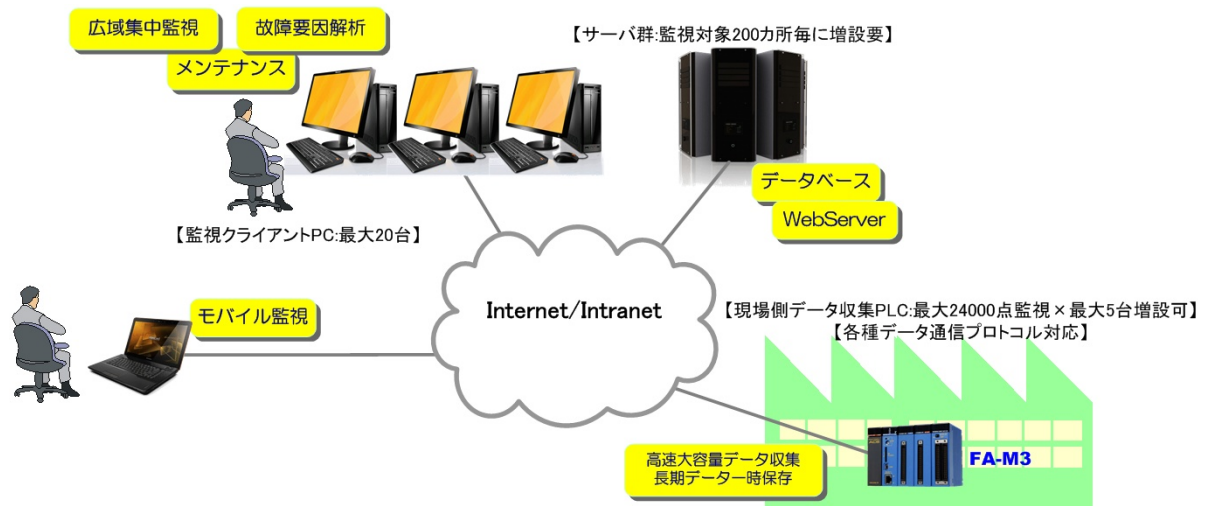
多彩な警報監視

アナログ上下限(HH/H/L/LL)、偏差、変化率、不変化警報、ON/OFF警報の監視を行い、警報発生時にはPC画面及びメールで通知します。また、警報発生時点前後20秒間の信号変化を高速(200ms)に記録出来ます。この記録により異常原因解析・診断を支援します。さらに監視側から接点出力操作が可能ですので、万一の場合の機器停止などが可能です。

高信頼性

現場側で収集データの一次バッファ機能を搭載し、万一の通信回線遮断時にもデータ欠落することはありません。バッファリングされたデータは通信回線復旧時に自動的にサーバへ送信されます。各サイト・データセンター・監視センター間はIPsec技術によるVPN(仮想専用線)を使用し、データを暗号化することにより、データの安全性を高めています。

◆ 構成



仕様概要

| 項目 | | 仕様 |
|---------|--|---|
| データ収集周期 | | 200ms |
| データ収集点数 | アナログ信号 | 500点～1500点(500点/1CPU、最大3CPU搭載可) |
| | デジタル信号 | 8000点～24000点(8000点/1CPU、最大3CPU搭載可) |
| | 合計管理点数 | アナログとデジタルの組合せによる合計点数 |
| 入力データ種別 | 直接入力信号 | PLCに入力モジュール装着(アナログ信号:8点/枚、デジタル信号:64点/枚) |
| | 通信入力信号 | FL-netによる通信入力 |
| 内部処理 | 瞬時、平均、最大、最小、パルス積算、演算、Hi/Loカット、折れ線近似値、測定値(工業量)変換、異常前後データ収集 | |
| 監視対象地点数 | 最大1000ヵ所(200ヵ所/サーバ1台あたり) | |
| 警報監視 | 上下限警報(HH,H,L,LL)、偏差警報、ヒステリシス設定、変化率警報、不変化警報、デジタル警報、警報マスクタイマ(アナログ/デジタル)、警報種別設定、警報通知、警報通知メール、警報履歴保存、警報通知一時停止通信異常監視(Ping監視)等 | |
| データ保存 | ヒストリカルデータ(1分毎瞬時値) | 全ヵ所[1年分]をデータベースへ保存 |
| | 警報履歴 | 全ヵ所[10000件分]をデータベースへ保存 |
| | 帳票データ(日報・月報・年報) | データサーバのハードディスクの容量に応じて可変/サイトに31日間分 |
| 画面表示 | グラフィック画面 | 最大16画面/1サイトあたり |
| | リアルタイムトレンド | 1画面あたり最大8ペン(点)/時間軸30分、表示枚数:制限なし |
| | ヒストリカルトレンド | 1画面あたり最大8ペン(点)/時間軸最大8時間表示(表示日時指定可) |
| | 警報表示 | 警報発生時のポップアップ画面表示・アラームサマリ(発生中警報表示) |
| 帳票機能 | 帳票種別:運転日報、運転月報、運転年報 帳票機能:帳票一括出力、小数点以下桁数調整、 帳票締め時間定義、表示シート定義、自動印字 | |
| 保守機能 | システム保守機能 | システム構築はシステム保守機能によりサイト追加が可能 |
| | システムメンテナンス機能 | 帳票修正機能、ヒストリカルデータ修正機能、各種設定のエクスポートインポート機能 |
| 他の機能 | 時刻同期機能、バージョン同期機能、パスワード認証、グループ設定 遠隔操作機能、携帯端末Web監視機能 | |

本製品についてのお問合せは

向洋電機ホームページ
お問い合わせフォームよりお願い致します。
<https://koyoelec-s.cms2.jp/contact.html>